

## 帯で身分・階級を表す!?

奈良時代には帯の種類や色で皇族・貴族の位や身分を表しました。

833 (天長10) 年「令義解」によると「養老の衣服令」で階級による衣服が決められ、帯は皇太子「白帯」、文官は「條帯 (色糸で組んだ組帯)」他、女性は身分により「蘇芳深紫<sup>そへおび</sup>紕帯」「浅紫深緑<sup>そへおび</sup>紕帯」「浅紫浅緑<sup>そへおび</sup>紕帯」という縁をつけた長い帯と記されています。



吉祥天女像



飛鳥時代 聖徳太子

## なぜ西陣といわれるのか?

室町時代の応仁元年 (1467年)、幕府の後継者争いで、堀川を挟んで戦がおこりました。これが応仁の乱です。

「東軍」細川勝元、「西軍」山名宗全にわかれ、11年の争いがありました。この長い戦乱の間、織職人達は堺 (大阪) などに移り住んでいました。戦後、京都に戻り、自分達が住んでいた土地が西軍の本陣が置かれていた所から「西陣」と呼ぶようになりました。もう540年以上前のお話です。

なお「西陣®」「西陣織®」は西陣織工業組合の登録商標となっています。

